



SEASIDE PARK

国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

2014年12月12日

H26年度 VOL. 47



2014年12月12日 撮影

紡がれて、形になりました…！

ついに

干支の巨大地上絵完成！

国営ひたち海浜公園の冬の風物詩「干支の巨大地上絵」がついに完成しました！

2015年のテーマは「紡ぐ」。「未来に向けて、ていねいに、カタチにしていく。」という願いのとおり、制作に携わったスタッフや「みんなでアート♪巨大地上絵を作ろう！」（12月6日（土）～12日（金））に参加してくださったお客様ひとりひとりの思いが、ていねいに紡がれてカタチになり、ついに完成の日を迎えることができました。

ヒツジの毛は、秋にみはらしの丘を赤く染めたココア。そのモコモコとした質感や色合いは、まるで本物の羊の毛のようです。

温かそうなココアの毛を纏った親ヒツジと、顔をうずめるように寄り添う子ヒツジ。見つめ合う親子から、“家族や大切な人への愛情や思いの大切さ”を改めて感じていただけるようなデザインとなっています。完成した微笑ましい親子の姿を、ぜひ大観覧車の上からご覧ください。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報課 広報係 服部・浅沼・安蔵

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

コキアが巨大地上絵に変身するまでの道のり

今年の巨大地上絵の注目ポイントは、毛の部分に使用した**コキア**。その色合いや質感は、ふわふわモコモコの羊毛を表現する材料としてぴったり♪です。このメインの材料であるコキアが、見頃の時期から巨大地上絵を形作る材料となるまでの過程をご紹介します！

10月中旬



秋のみはらしの丘を赤く染め上げた“コキア”。当園ならではの紅葉風景を、今年も多くのお客様にお楽しみいただきました。

11月上旬



見頃を過ぎると、刈取りが始まります。ひとたび役目を終えたコキアは、園内の一角で次の出番までちょっとひと休み。

11/27(木)~12/5(金)



いよいよ作業開始！材料となるコキアや薪を制作スタッフの手によって丁寧に並べていきます。

12/6(土)~12(金)



巨大地上絵を仕上げるのは、来園されたお客様。園内で採れた松ぼっくりを、耳やひづめに敷き詰めていただきました。

完成！



- ◆千支の巨大地上絵のサイズ
文字まで入れた全体：縦20m×横30m
ヒツジの親子のみ：縦20m×横25m
- ◆使用したコキアの数：約2,500本
- ◆敷き詰められた松ぼっくりの数：約20,000個

担当者に聞きました！



「今回のこだわりポイントは…」

2015年のテーマは「紡ぐ」。この「紡ぐ」という言葉は、羊の毛となる**コキア**をひとつひとつ丁寧に結び合わせていく作業から着想を得ました。巨大地上絵もまるで糸を“紡ぐ”かのように、細やかな作業によって、思いを形に紡ぎだします。家族や大切な人とともに「未来に向けて、ていねいに、カタチにしていく。」そんな年になってほしいと願っています。見ていただきたいデザインのポイントは、ヒツジの毛並。本物のヒツジの毛並に見えるよう、細部にまで配置にこだわりました。

Topics



豊海の中道海浜公園 **“未の巨大アート、続報！”**

もう一つの巨大地上絵も完成間近

福岡県にある国営海の中道海浜公園に初登場するヒツジの巨大アート。12/14(日)にボランティア約30名の協力を得て、完成を目指します！

展示：12月16日(火)～2015年1月15日(木)



2014年12月11日撮影

プレスリリース

次号予告

古民家で
お正月

